

起因物（小）別コードno.232 鉄道車両労働災害発生状況

業種別鉄道車両労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業																								
010102 水産食 料品製 造業																								
010103 農業保 存食料 品製造 業																					1			1
010104 パン、 菓子製 造業																								
010105 酒類製 造業																					1			1
010106 飲料 （酒類 を除 く）製 造業																								
010109 その他 の食料 品製造 業					1								1											2
0101 食料品 製造業				1									1								2			4

























0301	土木工 事業		3		1		4	1	1	2	5	1		1	2	1	3	3	4	1	3	3	1	40
030201	鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業						1	1			1	1												4
030202	木造家 屋建築 工事業									1														1
030203	建築設 備工事 業											1												1
030209	その他 の建築 工事業													1	1				1			1		4
0302	建築工 事業					1	1			2	1	1	1	1				1				1		10
030301	電気通 信工事 業		1		2						1	1		1	1	1	1					1		10
030302	機械器 具設置 工事業																							
030309	その他 の建設 業－そ の他		1			4	1					1			1		2							10

0303 その他の建設業			2		2		4	1			1	1	1		1	2	1	3			1		20	
03 建設業			5		3		9	3	1	2	8	3	2	2	4	3	4	6	5	1	4	4	1	70
040101 鉄道・軌道業			36		38		47	58	45	38	43	43	42	42	62	33	24	38	36	39	45	41	49	799
040102 水運業																								
040103 航空業																				1				1
0401 鉄道・軌道・水運・航空業			36		38		47	58	45	38	43	43	42	42	62	33	24	38	36	40	45	41	49	800
040201 ハイヤー・タクシー業													1						1					2
040202 バス業			1					1						1	2									5
040209 その他の道路旅客運送業			1					1		1											1		1	5
0402 道路旅客運送業			2					2		1			1	1	2				1		1		1	12
040301 一般貨物自動車運送業			1		1				3	2	2	1	1		3	3	1	1						19



































































		16	置の間に頭部を挟まれたもの。			49
2015	12	16 ～ 17	検修工場で鉄道車両の屋根に上がって新鮮外気装置のカバーの取り付け作業を5名で行っていた被災者が、使用していた安全帯のフックを新鮮外気装置のカバーの取っ手から取り外したときに、鉄道車両の屋根の端から3.8m下のコンクリートの床に墜落し死亡したもの。	11503	1	300 ～ 499
2017	12	18 ～ 19	輸送指令から雪害警戒体制が発動されたため、操車場構内において被災者ともう1名で融雪器の点火作業を行っていたところ、上りの旅客列車に激突され、死亡した。なお、列車との接触を防止するための監視人は、被災者本人であった。	40101	18	30 ～ 49
2017	9	14 ～ 15	原付バイクで南側から北側に横断中、普通電車にはねられ、即死した。踏切には警報機や遮断機がなかった。	90101	18	1～ 9
2017	2	0 ～ 1	電路のがいしを交換する作業のため、工事指揮者1名、作業責任者1名、作業従事者1名、見張人1名が現場配置した。下り線の作業であったが、上り線の貨物列車の通過を待つため、作業者等は退避、見張者は当該貨物列車にライントで退避完了を合図していたところ、当該見張者が貨物列車先頭車両右側面に接触した。	170201	18	10 ～ 29
2018	9	6 ～ 7	自宅から一般試験の為、会場に向かう際、駅のホームから転落し、侵入してきた列車にひかれた。	90103	18	50 ～ 99
2019	12	4 ～ 6	自宅から支店に出張するため、駅まで自家用車を使用し、駅北口付近の駐車場に車を止めたあと、踏切を渡り駅南口付近まで移動した。その後、再び踏切を駅南口から駅北口に向かって渡ろうとしたところ、走行中の特急列車にはねられ死亡したもの。	170209	18	50 ～ 99
2019	5	16 ～ 18	新聞配達業務において、警報機があり遮断機のない踏切（通路幅約1m）を渡ろうとしたところ、普通列車にはねられた。	80205	17	10 ～ 29
2020	1	8 ～ 10	線路に近接した水路工事において、残土置き場から作業場所に徒歩で戻っていた被災者が、線路の踏切ではない場所を横断していた時に、走行中の鉄道車両にはねられ死亡した。	30107	18	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_02.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html)